

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2017年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項、並びに競技注意事項により実施する。

2. 練習場及び練習について

競技中の練習は、マーシャルの指示に従いバックストレートを使用することができる。その他は、7ページの公開練習要項を参照すること。

3. 競技者の招集方法について

- (1) 招集所は競技場管理棟外側に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・時間はすべて、その競技の開始時刻を基準とし、下記要領で行う。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	30分前	15分前
フィールド種目	40分前	30分前

- (3) 競技者は、競技招集所付近に掲示した出場者一覧表（招集開始時刻の30分前から完了5分前まで掲示）に競技者または代理の者がチェック（○で囲む）する。その後、招集完了時刻5分前までに招集所内にて待機し、自分のナンバーカードを競技者係に示し、最終点呼を受ける。同時にスパイクシューズなどの競技場へ持ち込む物品の確認を受ける。
- (4) 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て出場を確認する。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- (6) 招集完了後、勝手に招集所を離れてはならない。移動は競技者係の指示に従う。

4. ナンバーカードについて

- (1) すべての競技者はナンバーカードをユニフォームの胸・背に交付された大きさのまま確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸・背のどちらかに付けるだけでよい。
- (2) トラック競技出場者は別に腰ナンバーカードをパンツ右側後方に付ける。腰ナンバーカードは招集所で競技者係が交付する。フィニッシュ後は係へ返却する。

5. レーン順・試技順について

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載通りとする。
- (2) 決勝の組み合わせ、及びレーン順は番組編成係で抽選し、その結果を記録掲示板に掲示する。プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出た場合、写真判定を拡大し細部まで読み取り着差を判定する。判定が不可能な場合は同タイム者または代理人によって抽選する。
- (3) 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分の割り当てられたレーン（曲走路）に沿って走り終わる。

6. 競技について

- (1) トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。
- (2) 競技中の助力については、競技規則144条を適用するが、本競技会においては4項（e）を適用しない。また、各種通信機器等を競技場内へ持ち込むことはできない。
- (3) トラックレースの予選において、棄権のため出場者が8名に満たない場合は、予選を取りやめ、決勝の時間に行う。

- (4) フィールド内での投擲及び跳躍の練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対にしない。
- (5) ハードルの高さインターバルは次の通りとする。

区分	高さ	スタートから 1台目	インターバル	10台目から フィニッシュ	備考
男子A 110m JH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	ジュニア男子規格
男子B 110m H	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	中学男子規格
女子A 100m YH	0.762m	13.00m	8.50m	10.50m	中学女子規格で インターバル長い
女子B 100m H	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	中学女子規格

- (6) 砲丸投、円盤投の重量は次の通りとする。

区分	重さ	区分	重さ
男子A 砲丸投	5.00kg	女子A 砲丸投	4.00kg
男子B 砲丸投	4.00kg	女子B 砲丸投	2.721kg
男子円盤投	1.50kg	女子円盤投	1.00kg

- (7) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習		1	2	3	4～
男子A 走高跳	1m55	1m70	1m60	1m65	1m70	以後3cmずつ
女子A 走高跳	1m30	1m50	1m35	1m40	1m45	以後3cmずつ

- (8) 円盤投、ジャベリックスローの計測ラインは以下の通りとし、2投目以降、この記録に満たないものは計測しない。

種目	男子	女子
円盤投	20m00	18m00
ジャベリックスロー	37m00	27m00

7. 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場はすべて競技役員誘導により行う。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技における競技者は、レース終了後、腰ナンバーカードを返却した後、最寄りのゲートから退場する。
- (3) フィールド競技における競技者は、当該競技役員・マーシャルの指示に従い退場する。

8. 競技場用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意したものを使用する。終了後は競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。ただし、走高跳のマーカーは各自で用意し、終了後は競技者自身で取り外す。

9. その他

- (1) 競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は1本以内で、長さは9mm以下、走高跳・ジャベリックスローは12mmを越えてはならない。また、スパイクの先端の直径は4mm以内とする。(規則139条④)
- (2) 選手権者には賞状と選手権章を、2位から8位までの入賞者には賞状を授与する。
- (3) 医務室は管理棟内に設けており、応急処置までの用意がある。
- (4) 競技結果は空知陸上競技協会ホームページ上に掲載する。(http://www8.plala.or.jp/sorachi-rikkyou/)